

家康公の城づくり町づくり

【静岡市葵区】

1 駿府城跡

2 鷹匠町

3 茶町

4 薩摩土手

5 静岡浅間神社

MAP P16・17

大御所政治の舞台となった
駿府城と城下町の繁栄

静岡市中心部には、家康公が
築いた城跡や町割が残る。

家康公が駿府城を築いたの
は駿河をはじめ五カ国の領主
となった1585年(天正13
年)、44歳のとき。5年後には、
秀吉の命により江戸城へ移る
が、64歳で將軍職を三男秀忠公
に譲ると大御所として再び駿

府へ戻り城づくりに着手。ここ
ろが、天守は完成して半年ほど
で焼失。城内では不審火が多
く、家康公はタバコが原因だと
して「喫煙禁止令」を出したほ
どだ。現在、当時の堀とともに
復元された隅櫓などを見るこ
とができる。

城下町に「駿府九十六か町」
と言われた町人が住む町方が
整備され、今の市街地の原型と
なった。町名には当時のままの
名前が多く残っている。例え
ば、両替町は家康公が京都伏
見銀座を駿府に移し、金銀の両
替屋があった町。茶町や鷹匠町
など家康公の趣味に通じる
人々が住む町もあり、駿府の町
はおおいに繁栄したとか。

町の安全性にも配慮した家
康公。安倍川の洪水から守るた
め薩摩土手を築き、駿府用水
と呼ばれる水路も整備、一部は
防火用水や農業用水として活
用された。



2 鷹匠町

鷹狩りが趣味だった家康公。家康公の鷹狩りに同行した鷹匠たちが住む町として武家屋敷地に設けられた。

静岡市葵区鷹匠
☎054-251-5880
(静岡観光コンベンション協会)

3 茶町

茶の湯に親しんだ家康公が安倍川上流で栽培された茶を扱う商人の町として誕生させ、江戸時代から製茶問屋が軒を連ねた。

静岡市葵区茶町
☎054-251-5880
(静岡観光コンベンション協会)



4 薩摩土手

家康が駿府拡張に伴い築いた長さ4.3kmに及ぶ堤。薩摩藩の島津氏が運んだ石材により築かれたと伝えられている。

静岡市葵区井宮
☎054-251-5880
(静岡観光コンベンション協会)



①異櫓(たつみやぐら):駿府城二ノ丸の東南角、異(辰巳)の方角に位置した三層二重の隅櫓は、1989年(平成元年)に復元された。

②東御門:駿府城への主要な出入り口で、二ノ丸堀に架かる東御門橋と高麗門、櫓門、多門櫓で構成される樹形門。石落としや鉄砲狭間など、堅固な造りになっている。1996年(平成8年)に復元。

③櫓門北面:東御門を構成する櫓門の正面。土塀に、鉄砲狭間(てっぽうざま)・矢狭間(やざま)などが見られる。

④紅葉山庭園:駿河の国の名勝を織り込んだ、四季折々に美しい庭園。家康公お手植えのみかんもある。

静岡市葵区駿府城公園1-1 ☎054-251-0016
開園時間/東御門・異櫓・紅葉山庭園9:00~16:30
休園日/月曜(祝日は開園)、祝日の翌日(庭園は開園)、年末年始
入場料/東御門・異櫓 大人200円・小人50円、紅葉山庭園 大人150円・小人50円



◆徳川家康公の像

駿府城本丸跡に建つ、
駿府大御所時代の家康公。

家康公トリビュート

家康公ゆかりの祭り

に参拝した折に感動した「稚児舞」が、静岡浅間神社の例大祭「廿日会祭」でも奉納されるようになったとか。また、家康公は家臣を連れて浅間神社へ花見見物をしたと言われ、「大御所花見行列」として静岡まつりで再現されている。

◆静岡まつり

静岡の春を彩る市民の祭り。華やかな「大御所花見行列」など様々な催しが繰り広げられる。4月の第1土・日曜を中心に開催。

静岡まつり実行委員会事務局
(静岡市観光・シティプロモーション課)
☎054-221-0182



5 静岡浅間神社

静岡市葵区宮ヶ崎町102-1
☎054-245-1820



大御所花見行列